私事にて恐縮ですが、私は33 年前の平成3年に医師免許を取 得し当院で内科初期臨床研修を 得し当院で内科初期臨床研修を 開始しました。これから頑張ら 開始しました。これから頑張ら がされるものの、何か高い目標 がされるものがあったことは思い がされるものがあったことは思い がされるものがあったるとは思い

行 発 所 新潟県医師会 新潟市中央区医学町通 2-13 TEL 025 (223) 6381

新潟県医師会 副会長 内 山 政

相談してください。先輩の一言相談してください。先輩のおりがいを感じます。 指導医がよりよい指します。 指導医もまた、皆さんの知識や技術ながら研修医・専攻医を指導することは、大変なエネルギーをあることは、大変なエネルギーをはこれから日ごと、月ごと、月ごと、がはこれから日ごと、月ごと、月ごと、がいに変わっていくと思われます。 対応困難な時は自分でします。 対応困難な時は自分では、大変なエネルギーをします。 対応困難な時は自分では、 と思われまず。 対応困難な時は自分では、 と思われまず。 対応困難な時は自分では、 と思われます。 対応困難な時は自分では、 と思われます。 対応困難な時は自分では、 と思われます。 と思います。 といます。 といますます。 といます。 といます。 といます。 といまます。 といます。 といますま

で簡単に解決できることもあり

医療を支える貴重な人材です。 医療は多くの人、多くの職種で を療は多くの人、多くの職種で を療は多くの人、多くの職種で を療を支えられています。病院内では、 を育れぞれ時間的、空間的に様々な を持たいます。彼らのモチベーションがグンとアップします。を を療を支えています。を をから周囲を見ています。を を育れないほど多種多彩な人もいます。 を育れないほど多種多彩な人を を方をしています。 を育れないほど多種多彩な人を を方とアップします。 を育れないほど多種多彩な人を ががあたちを支えています。 を育れないほど多種多彩な人を が流や交通 でります。そんな親 をする人 をおのずと他職種へのリス です。 です。 では、 を対しています。 では、 を対しています。 では、 を対しています。 では、 を対しています。 では、 を対しています。 でしています。 では、 を対しています。 でしています。 でしています。 では、 を対しています。 でしています。 でしています。 では、 では、 では、 では、 ののでといかが増え、 のリス 医療を支える貴重な人材で研修とはいえ、皆さんは医療はみんなで支えてい です。

んでいると、大学や病院の上司ルサイトです。地道に研鑽を積研修施設は医師人生のポータ無限大 司積夕

ることがあります。から国内・外の施設

医師会は応援します にや大学の勤務医です。活動は がちですが、会員の6割は病 にや大学の勤務医です。活動は を使にわたり、急患センターの 運営や学術研究支援、新型コロ がちですので、新とです。活動は を療は万全の体制で臨んで も、予期せぬ経過を辿る例があ からぜひご加入ください。皆さんの新たな人生のスタートにエ ールを送ります。

を進めることができられてどうにか研修られてどうにか研修 に患者さんが衰弱していくのがよくわかりました。そのような状況で病室を訪れる回数は必然物に増えていきました。そのようなような患者さんの表情、患者さんのでも人の役にたつことができるという不思議な感覚と、自分ではどうしても変えられる情、患者さんのという無力感でした。『一日3回は入院患者さんをある指導医からこう言われない。』 初めは、患者さんの状態さん。『一日3回は入院患者さんをある指導医からこう言われない。』 初めは、患者さんの状態

「療を続けるもよし、確の場を見つけるもります。 それを受け外の施設を紹介され 新研修医に贈る、



医学教育学分野 教授新潟大学医学部医学科

畄

子

転ばぬ先の3

つの言葉

61 ま す

一. 患者さんが頭を下げて されるのは、皆さんにで 自覚する。 自覚する。 自覚する。 自覚する。 の時に当時の慈恵医大の学長、 もろくな診療はできません。でも多です。現場を下げてくれるのです。我々は自分の卒業式であるときは、利他の持ってだとす。それは白衣とは、おいるときは、利他のように錯覚しているのです。それは白衣とは、おいるときは、利他のように錯覚している。ときは、利他のように錯覚している。 はなく白衣に対してだといる。自分がは自衣とはははない。それは白衣とは、 が自衣のです。我々は自衣とだいた。 でも違う。それは白衣とだいた。 でも違う。それは白衣とがは白衣を着してくれる。 はいるのです。我々は自衣を はいっくのは相 でいるのは相 が自衣を着 でいる。中身 がもしてくれる。 でも違う。 でも違う。 でもろくないた。 ははないたが頭を下げて でもさんにで が自衣を着 でも違うがは自衣とは でも違うがは自衣とれる。 でもしてくれる。 でもしてくれる。 でもしてくれる。 でもしてくれる。 でも違うがは自衣を は自衣といる。 でも違うがは自衣といる。 でも違うがは自衣といる。 でもしてくれる。 でもしている。 でもないる。 ・ さい。 さんのプロさんのプロ ようにしてくだ が偉くなった ァショナリズム

に変化がないか、小さなことでも見逃さないように、との意味も見逃さないようなどとしていましたが、中には、明らかに迷惑したが、中には、明らかに迷惑したが、中には、明らかに迷惑したが、中には、明らかに迷惑したが、中には、明らかに迷惑をあてような顔をされるようなとしていました。コミュニケーションを積み重ねていくことが、コミュニケーションを積み重ねていくことが、コミュニケーションを積み重ねていくとといいました。コミュニケーションを積み重ねていくことが、コミュニケーションを積み重ねていくことがあるとの意味を表している。

心るで慎重です 何でもはじめ 二.必ず驕る

第に想像力が低下し、それまでの経験や知識によってなんとかその場を取り繕うような場合が低下し、最初に担当したが、ふとしたときに、最初に担当したが、ふとしたといるってしまいましたが、本としたが、とは、診療の基本であるとうとは、診療の基本であるとうも思います。 ここ数年、新型コロナウイルス感染症の蔓延、戦争・騒乱、ここ数年、新型コロナウイルのことを思い出します。 ま行など社会全体にかかわる多くの事象が続いています。 す。省と、

仕事一辺倒の医師は追い詰められた時、きつくなることがあられた時、きつくなることがあるかもしれません。職場、家庭、それ以外のいろんなコミュニティに意識してつながってください。辛いことがあったらいつでも母校を思い出して、ご連絡さんの今後の人生が実り豊かなものであるように、心からお祈りしております。

定な時代の中で、多くの人がなかなか先を見越せず、漠然とした不安を抱えて生きています。 を不安を抱えて生きています。 をがな感性があると思います。 でとはそのような感性をもっていただきたいと思います。 と現場で一緒に仕事を踏みだもま者さんの表情や言葉、しぐさがもといます。 とを楽しみに、ご活躍を祈念しています。

す。皆さんには、こ で卒業おめでとう で からのお祝いとエ しからのお祝いとエ しからのお祝いとエ しからのお祝いとエ で からのお祝いとエ しからのお祝いとエ しからのお祝いと からのお祝いと からのお祝いと からのお祝いと からのお祝いと がらいます。皆さんには、こ から患者さん、

ださい。 感謝の気持ちを忘れずに、そ

います。 必ず何らかの意味があり、皆さんの成長の糧になっていくと思います。一つ一つの出会いには、

どとの

数多くの出会いが待っ多職種の医療スタッフ

新 潟 病 院 院新潟県立がんセンタ

長1

田

中

、「患者さん軸で動くこと」いては月並みではあります

にしています、という記載にと人称の視点」という言葉を大切

良かったなと思う点に

んだけでなくコメディカルかす。 研修生活が始まると患者

さい。さい。

ただきます

とおすすめの本を共有させていたおすすめの本を共有させていた。研修時代機会を頂戴しました。研修時代僭越ながら寄稿させていただく僭越ながら寄稿させていただく

と、心よりお慶び申し上げます。

卒業おめ

ご卒業あめ

でとうございます

医師の仕事について考える―

済生会新潟病院

呼吸器内科

小

ます

新潟県立新発田病院 脳神経内科

鈴

穂

平 木

成 奈

30

年

卒

新潟市民病院 麻酔科 大 石 ま

平 成 29 年 卒



ます。 ご卒業まこ とうござい とにおめで

を は学生時代、勉学に苦労しま は学生時代、勉学に苦労した。 ですが、時には自分の能力に疑 関され、時には自分の能力に疑 関され、時には自分の能力に疑 ですが、それは大なり小なり多 くの医学生が通ってきた道じゃ ないかと思います。

から歩む医師としての道も、きさらにこの先、皆さんがこれ

っと簡単な道ではないでしょっと簡単な道ではないでしょった。 をの状態で患者さんと向き合った。 ですがそういった道のりこそがですがそういった道のります。 ですがそういった道のりこそがですがそういった道のりこそがですがるかと思います。 ですがそういった道のりこそがですが、患者さんと向き合ったがのりこそがですが、患者さんと向き合った。

い。今、私自身もまさに実感しい。今、私自身もまさに実感じて患者さんから学ぶことがいいて患者さんから学ぶことがいいのた輩や同僚、そ同じくらいに大切です。

感じるようになってきます。 ちろん自分で学びに行く姿勢は ちろん自分で学びに行く姿勢は とても大事ですが、私たち医師と でいるわけではありません。間でいるわけではありません。間でいるわけではありません。 離ものです。 大切なのは、それを乗り越えるための柔軟性と学を乗り越えるための柔軟性と学を乗り越えるための柔軟性と学が続ける姿勢です。 でいますが、年数を重ねるにつていますが、年数を重ねるにつていますが、 年数を重ねるにつていますが、 年数を重ねるにつていますが、 年数を重ねるにつ

び続ける姿勢です。 び続ける姿勢です。 最後に、皆さんはそれぞれ誰 最後に、皆さんはそれぞれ誰 で前に進んでください。そして、で前に進んでください。そして、で前に進んでください。そして、できます。4月からの研修生活 どんなときも諦めず、努力を惜 どんなときも諦めず、努力を惜 が充実したものとなるよう心か が充実したものとなるよう心か

業おめでと 皆様、ご卒 **上越総合病院** 研修医

が新型コロ が新型コロ うございま

きな苦難を乗り越えて医師としきな苦難を乗り越えて医師としての第一歩を歩み始められることに心よりに、皆さんもこれから医いる。学生時代の私がそうであったように、皆さんもこれから医いる寄稿の機会を頂きましたので、私が2年間の初期研修で感じたことをお伝えすることでエ

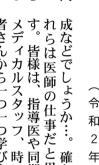
石 令 田 和 4 祐 年 己 卒

場に学びにいく」姿勢かと思います。私は学生時代にコロナ渦をあったため、初期研修ではで実習の機会が不足した世代ですが、現場でやってみることを事者と生のやりといき、もちろん座学が大切なことは言うまでもるのではなく実際をしてをず、、自分に足りをすることによって得られる新たな発見やいらず、失敗や相手の反応をすることの気付き、他者との関係構築はれて磨躇してみてください。現場ではおったなときこそ自からいろいろな現場に足を運びからいろな見や相手の反応を恐いてみてください。現場であれこれ考え苦労し、冷や汗をかき、他者と関わる中で得た学のもれている。

ールを送りたいと思います。 一ルを送りたいと思います。 一ルを送りたいと思います。 一世にも進むことができる自由 向性にも進むことができる自由 度が高い期間だと思います。 学生時代には定期試験や CBT、 学生時代には定期試験や CBT、 るかったかと思います。しかし、 なかったかと思います。しかし、 る部分も多くなり、何も考えず る部分も多くなり、何も考えず るとなんとなく日々が過ぎてし るとなんとなく田々が過ぎてし るとなんとなくのない研修になりか もません。そこで大切なのは「現

ま **

長岡赤十字病院 研修医 笹 令 原 和 5 崇 年 卒



寄稿いたし 出に際し、 出に際し、 仕事って何 「医師の

ーとうござい

卒業おめで いこ で

らも一医師として扱われますの らも一医師として扱われます。 真つ当なことで指導や注意を受 けることもあれば、理不尽な非 難を受けることもあります。そ んな時、「患者さんのために自 分が動いたかどうか」を主軸に 置くと、被害者としての自分で はなく、「患者さんのために自 なな犠牲だった」と、精神的ダ メージをそこまで負わずに済み ますし、「患者さんを思っての ますし、「患者さんを思っての 医師の働き方改革が本格化する今、私の中で膨らむ疑問でる今、私の中で膨らむ疑問です。 各種手技を行うことでしょす。 各種手技を行うことでしょうか。 診察し診断し治療するプロセスでしょうか。 またその中で必要となるオーダーや書類に 医師のこと

では、ことでは、 により制約の多い学生生活を 過ごされたことと思います。そ 過ごされたことと思います。そ のな未曽有の災禍の中で、6年 のはます。そ のはます。そ

指導/注意なのだな」と思うと、指導/注意なのだな」と思うと、特事の記述は対す。それでは「患いては拙い文章力ではまとまらいては拙い文章力ではまとまらいで、柳田邦夫著「犠なかったので、柳田邦夫著「犠なかったので、柳田邦夫著「犠びるかったので、柳田邦夫著「、大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」と思うと、「大阪の記述」という。

果が出るものではなく不安にな 果が出るものではなく不安にな 果が出るものではなく不安にな 果が出るものではなく不安にな 果が出るものではなく不安にな と思います。 当たり前のことに思えますが、 当たり前のことに思えますが、 当たり前のことに思えますが、 とめに考え尽くすこと」です。 とが、自信をもって向き合 ってほしいと思います。

柴 和 2 多 年 確かにこ 郎 卒

れらは医師の仕事だと思います。皆様は、指導医や同期、コす。皆様は、指導医や同期、コオールスタッフ、時には患メディカルスタッフ、時には患メディカルスタッフ、時には患ができるようになります。しかしているの仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いまれらは医師の仕事だと思いました。

が来ます。 研修を進めていくと必ず壁に ぶつかります。時に医学や医療 の途方もなさゆえに「医師とい の途方もなさゆえに「医師とい の途方もなさゆえに「医師とい の達すでき。《我々の主たる務 めは、遠くにかすんでいるもの を見ることではなく、目の前に はっきり見えるものを実行に移 すことがあります。そんな時 はっきり見えるものを実行に移 なは、遠くにかすんでいるもの を見ることが、必ず後に診 る患者さんに繋がります。私の るにお るととである。 していたカーライル を見ることが、必ず後に診 るととである。 しているものを実行に移 ない出すのは、あの Osler 先 はっきり見えるものを実行に移 ないるものを実行に移 ないるものを実行に移 ないるものを実行に移 ないるものをと ことが、必ず後に診

か月ごとに職場となる診療科が でとうござ か月ごとに職場となる診療科が か月ごとに職場となる診療科が ご卒業おめ

変わる研修医にとって、病棟や外来、手術室のスタッフの名前を覚えることは非常に困難です。しかし看護師やリハビリす。しかし看護師やリハビリす。しかし看護師やリハビリす。しかし看護師やリハビリすべきです。「すみません、人口さんの点滴についてですが・・・」ではなく、「〇〇さん、イーさんの点滴についてですが・・・」と呼びかけられるよう頑張りましょう。

が初期研修を始めた4月に、んの元へ向かうこと」です。私か起きた際には、すぐに患者さかに2つ目は「患者さんに何

研修が始まるとわからないこ 研修が始まるとわからないことばかりで、時には周りと比較してつらくなることもあるでししてつらくなることもあるでしんなときも自身の心と身体の健 まだけは大切にしてください。 びというのはずっと忘れません。 びというのはずっと忘れません。 びというのはずっと忘れません。

Call を看護師さんから受けました。その際、私は情報収集のためにカルテを開いたり、発熱への対応をマニュアル本で調べたりしていました。それを見ていた指導医に「ここで何か考えるよりまず患者さんの所に行っるよりまず患者さんの所に行ったとしても、みなさんの所に行ったとしても、みなさんは1人ではからないが発熱したとのというによりないが発熱したとのは、私は、ないが発熱したとのというないが発熱したとのは、私は情報のようないが発熱したとのは、私は情報のようないが発熱したとのは、私は情報のようないが発熱したとの表もないが発熱したとのは、私は情報のようないが発熱したとのは、私は情報のようないが発熱したとのは、私は情報のようないが発熱した。

くことを心より楽しみにしてお医療に携わる仲間として共に働展後になりますが、皆さんとください。 でとうございます。

本業おめでとうございます。 卒業おめでとうございます。 を抱えて、新しい道へ踏み出そ うとされている先生方に、心からエールを送ります。 会人として仕事に慣れている を施えらず、新しい風を吹かせていただき、よりよい風を吹かせていただきをよう一緒に頑張っていった。 できるよう一緒に頑張っていくの 大ではないということを忘れずに、恐れず前へ進んで下さい。 皆様の健闘を祈ります。 として仕事に慣れていくの なが助けてくれます。決して一 ないます。 と思います。 ではないということを忘れず に、恐れず前へ進んで下さい。。